

肉便器の朝は早い  
#02 雛瀬 桃香

#02  
雛瀨  
桃香

シナリオ..宝井こじか

[illegible]

## 肉便器の朝は早い

桃香「んんっ……桃香のオマンコにおっきいバイブが入って、動いてますう……」

桃香「バイブ、おつきくて、気持ちいいですう……はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ……」

桃香「ひやつ、あああああつ、あつ、あつ、あつ、あつ、んつ、んつ、んつ……」

桃香「だめえ、せんせ、い、やめてえ……」

桃香「あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ」

桃香「……クリ擦らないでえっ！！そんなに擦られると……ふうっ……」

桃香「あつ……ふうつ……はあつ、はあつ……」

桃香「クリいいのお……クリ気持ちいいのおっ……はひっ……ん、くうっ……あはあっ……」

桃香「いきますう、いきますうツ……クリ擦られていきますうツ……あああつ……！！」

ナレ「わたしのオマンコからはマン汁がダラダラと糸を引いて垂れています」

ナレ「先生は、今度は自分のチンポをわたしのオマンコに突きたてました」

桃香 「あつ……んんっ……ひいつ……

ナレ「腰をしつかりと持たれて、さっきのバイブとは違う感触のモノがわたしのオ

中で重いているのかわかります」

「先生はおたしにこの格好のまま足を高く上げてみろとおっしゃいました」

カレーレストランに鏡になりなっていて、足をあげようものなら一つに繋がっている先生

(続きは製品版をご購入下さい)